



AP NEWSLETTER

Newsletter of MIC-AP

2014 年度 March, 2015

CONTENTS

- 事業の概要 ● キックオフ・シンポジウム ● 人事 ● 外国研修
- ワークショップ ● 平成 26 年度の主な活動 ● 交流・訪問

発行: 宮崎国際大学 e-ポートフォリオセンター
〒889-1605 宮崎県宮崎市清武町加納丙1405番地
TEL.0985-85-5931(代) FAX.0985-84-3396
URL: <http://www.mic.ac.jp/>

事業の概要

本学は、文部科学省の平成 26 年度大学改革推進事業「大学教育再生加速プログラム (AP)」において、テーマ I・II の取組みが採択されました。本事業では、本学の従来の教育実践を基盤に、本学教育の主要な学修成果であるクリティカル・シンキングと英語スキルの可視化を行い、これらの修得を最大化させるアクティブ・ラーニング手法の開発、その実践及び体系化を行うものです。本事業の特徴は大きく 3 つあります。1 つ目は、これまで実践してきたアクティブ・ラーニングのベスト・プラクティスの明確化と実践です。2 つ目は、クリティカル・シンキングとアクティブ・ラーニングとの関係から捉えた英語スキルの可視化を行うことです。3 つ目は、アクティブ・ラーニングとクリティカル・シンキング及び英語スキルの対応関係をルーブリック・ベース・シラバスにより視覚化し、学修の PDCA サイクルを確立することです。

「大学教育再生加速プログラム」とは？

「大学教育再生加速プログラム (AP)」は、国として進めるべき大学教育改革を一層推進するために、教育再生実行会議等で示された新たな方向性に合致した先進的な取組を実施する大学を支援することを目的としているものです。平成 26 年度は、申請事業 250 件のうち 46 件が採択されました。本学は、「テーマ I : アクティブ・ラーニング」と「テーマ II : 学習の可視化」の複合型です。

キックオフ・シンポジウムの開催

「少人数制アクティブ・ラーニング (AL) による国際的リベラル・アーツ教育の展開」

平成 26 年 10 月 18 日 (土)、文部科学省大学改革推進事業「大学教育再生加速プログラム (AP)」採択事業のキックオフ・シンポジウムを開催しました。本シンポジウムは、『少人数制アクティブ・ラーニング (AL) による国際的リベラル・アーツ教育の展開——DEVELOPMENT OF INTERNATIONAL LIBERAL ARTS THROUGH ACTIVE LEARNING IN SMALL CLASSES——』のテーマで、大学教職員や教育行政担当者、高等学校の教員など、県内外から多数の関係者の参加を得ました。はじめに永田学長が挨拶を述べ、担当者から大学の紹介と事業内容の概要説明を行いました。本事業を進めていくことになる 5 つのワーキンググループ (WG) (①アクティブ・ラーニングWG、②クリティカル・シンキングWG、③英語スキルWG、④e-ポートフォリオWG、⑤ルーブリック・ベース・シラバスWG) の責任者から、今後の取り組みと活動内容について説明を行いました。終了後、大学教員と参加者による交流の場を設け、意見交換を行いました。



人事

アセスメント・オフィサー



氏名: 横原知行
略歴: 東北大学卒業、北陸先端科学技術大学院大学博士前期課程修了。専攻は高等教育論。
抱負: アセスメント・オフィサーとして業務に邁進し、本学の発展のために尽くします。何卒よろしくお願い申し上げます。

AP 事業関連事務補佐員



氏名: 池田祐実子
略歴: 国際基督教大学卒業、ニューヨーク州立大学修士課程終了。専攻はコミュニケーション学
抱負: 日英バイリンガルであることを活かし、本学が AP 事業を通して発展するお手伝いをできればと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

CATテスト実施・評価業務研修会参加

1. 第1回研修会

日程 2014年10月30～31日 場所:アメリカ合衆国 ニューメキシコ州 サンタ・フェ市

参加者: ロイド・ウォーカー教務課長

研修内容: クリティカル・シンキングの評価テスト先進校テネシー工科大学主催の2日間にわたるワークショップに参加

成果: CAT(Critical Thinking Assessment Test)採点者(Train-the-Trainer)研修を受け、日本でCATを実施し、採点者のトレーニングを行う資格を得ました。また、全米科学財団の補助の下クリティカル・シンキングを測定するテストであるCATを開発したテネシー工科大学の担当者と情報交換を行い、今後の日本でのCAT実施における足がかりを得ました。



2. 第2回研修会

日程 2015年3月5～6日 場所:アメリカ合衆国 マサチューセッツ州 ボストン市

参加者: ベンジャミン・ピーターズ准教授、モニカ・ハムチュック講師

研修内容: CAT評価テスト先進校テネシー工科大学主催の2日間にわたるワークショップに参加

成果: 上記2名の教員が日本においてCATテストを施行する資格を得た。また、授業におけるクリティカル・シンキング評価の開発についても研修を受け、今後の本学独自のCATテスト開発に関わる知見を得ました。



主な WG の活動の様子

- 1月上旬、e-ポートフォリオ・ワーキンググループの主導でe-ポートフォリオ・システム活用に向けて今年度購入したPCタブレットがアクティブ・ラーニング授業で試験的に活用されました。



- 3月下旬、クリティカル・シンキング・ワーキング・グループによってCATテストが15人の本学の国際教養学部3年生に試験的に実施されました。



日本でのCAT評価テストの実施は今回が日本初の試みです。試験結果は分析され、来年度の本格的な試験実施に活用されます。

平成26年度の主な活動記録

- 9月 「大学教育再生加速プログラム」に採択
- 10月 キックオフ・シンポジウム開催
- 10月 サンタフェ市で行われたテネシー工科大学主催のクリティカル・シンキングの評価テストCATワークショップに参加
- 11月 合同ワーキンググループFD開催
- 11月 クリティカル・シンキングのアセスメント 開発団体に登録
- 12月 e-ポートフォリオシステム構築のためにe-ポートフォリオサーバー及び無線LANシステムを設置
- 1月 タブレットPCを試験的にアクティブ・ラーニング授業で活用
- 3月 ボストン市で行われたテネシー工科大学主催のクリティカル・シンキングの評価テストCATワークショップに参加
- 3月 アセスメント・オフィサーを採用
- 3月 CATの試験的テストを国際教養学部3年生に実施
- 3月 年度末合同ワーキンググループ開催

交流・訪問

平成27年3月13日、関西大学教育推進部特別任用助教 原田健太郎氏が本学を訪問されました。同氏所属の関西大学も本学同様に「大学教育再生加速プログラム」のテーマI・IIに採択され、取組の最中とのことでした。お互いの取組の現状について意見交換並びに資料交換をし、双方で事業の成果が出ることを誓い合いました。